

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	入居者の方で骨折後、歩行のリハビリ中や転倒のリスクが高ければ、夜間・日中自室で休まれている場合はベットの足元にセンサーマットを置いている。家族の許可も頂いている。	センサーマットの使用について、介護計画にもプランとして入れ、漫然と使用するのを避けるようにする。	事業所の月1回のカンファレンスにて入居者様の介護計画検討会及びモニタリングを行い、必要性の確認をして、家族様にも報告する。	3か月
2	7	司法書士による成年後見人制度利用者が2名と日常生活自立支援事業利用者が1名在籍している。	成年後見人となって頂いている司法書士の方に専門的な立場からのご意見を頂き、入居者家族にもお話しをしてもらう機会を作る。	成年後見人として「かわも」に訪問されるので、その時に担当の利用者様についてはもちろん最近の成年後見人制度その他の動向についてのお話しを聞く。そして、運営推進会議・家族会の中で勉強会を行い、専門的な立場からのご意見を頂く機会を作る。	6か月
3					月
4					年
5					年